

まちづくり市民会議 第2小委員会「関係課意見交換会」議事録

■日 時	2008年7月1日（火） 午後6時30分～午後8時30分
■場 所	太田市役所 10階 政策推進会議室
■出席者	[委員] 福島会長、西村委員長、森尻副委員長、栗原委員、 後藤委員 [企画政策課] 小林課長、田中課長補佐、石川課長補佐、 奥川係長代理、正田主任 [環境政策課] 岡田参事 [リサイクル推進課] 鈴木課長、植木課長補佐 [清掃施設管理課] 森尻参事、金谷参事、須藤課長補佐 [健康教育課] 阿藤参事、荻野課長補佐 [文化財課] 茂木参事、遠坂主任 ※欠席委員3名 荒井、内田、神谷

【概要】

1. 目的

行政の各施策について

- ①まちづくり市民会議で検討した問題点などが、行政の施策に対し誤解や偏見に陥っていないか確認する。
- ②提言書を作成する際に、行政の考え方や施策の主旨を確認することにより、水準が高く実現性のある提言書を作成する契機とする。
- ③提言書に対し行政の信頼性の向上や誤解、偏見の解消を図る。

2. 内容

(1) 主旨及び検討経過の説明

- ・小林企画政策課長の挨拶後、関係課の職員を紹介、その後、福島会長が意見交換会の主旨（目的）を説明した。
- ・主旨の説明後、西村委員長がこれまでの検討経過について説明を行い、各委員が個別の意見について補足説明を行った。
- ・第2小委員会は、①環境改善・環境整備を推進するまちづくり ②健全な子供たちを育むまちづくり ③健康活動のやりやすいまちづくり ④伝統文化を継承するまちづくり をテーマに話し合いを行ってきた。
- ・①環境改善・環境整備を推進するまちづくりとしては、「環境教育」「ごみ問題」「自然環境」「地球温暖化対策」について討議した。
- ・②健全な子供たちを育むまちづくりとしては、「食育の推進」「地産地消」について討議した。
- ・③健康活動のやりやすいまちづくりとしては、「サイクリングロード・ウォーキングロード」「サイクリングロード/ウォーキングロードマップ」について討議し

た。

- ・④伝統文化を継承するまちづくりでは、文化財に指定されていない伝統文化も後世に残していくことについて討議した。

(2) 意見交換

①環境改善・環境整備を推進するまちづくりについて

●環境政策課の説明

- ・地球温暖化をはじめ環境破壊に関することは深刻な問題と認識している。
- ・太田市では、CO₂削減のため太陽光発電に対する補助金制度を他市に先駆け高いレベルで実施している。今後、削減結果等を公表し、更なる啓蒙に努めていきたい。
- ・企業の環境への対策は進んでいるが、一般家庭の対応が遅れていると考えている。洞爺湖での環境サミットの開催もあることから、国民の環境への更なる関心が高まることを期待しているが、公共施設でエコキュート等を率先して使用するなど模範を示していきたい。
- ・太田市は昨年から特例市になり水質保全等の業務が県から委譲されたため、きめ細かい対応により自然環境に配慮をしている。

●リサイクル推進課の説明

- ・その他プラなどの回収不足に関して、リサイクル推進課としても回収増の要望を受けている。
- ・分別内容についても見直しの必要があると考えている。
- ・ゴミ袋の有料化はごみの減量に有効であるが、合併等のさまざまな要因があることもご理解いただきたい。
- ・資源回収に対する団体への補助金事業等を実施しているが、参加することによって環境への意識の向上が図られるのではないかと考えている。

●清掃施設管理課の説明

- ・ごみ処理にかかる経費は以前は公表していた。ごみ処理フローはホームページで公表している。また、ごみ処理施設は随時見学可能である。
- ・循環型社会への取り組みから、焼却灰の半量を熔融炉で処理し、スラグは100%再利用をおこなっているが、灯油を使用しているため現在ではコスト高になっている。

●委員の意見

- ・市民にも分別は浸透してきているが、市民側のレベルと行政の施策が合致していない。
- ・ごみの出し方等は個人のモラルによるところが大きいですが、町内会の協力も不可欠である。また地域によって取り組みに差があるため、個人の意識改革をするために行政がどのように対策をとっていくかを考える必要がある。

- ・子供への環境教育は、どのように行われているのか。

②健全な子供たちを育むまちづくりについて

●健康教育課の説明

- ・旧新田・尾島地区は給食センター方式であるが、地産地消を既に実施している。旧太田・藪塚地区は自校方式であるが、34校中24校で実施している。今後全校で実施していく方針である。
- ・米飯の回数を増やし、全て太田産のゴロピカリを使用する予定である。
- ・栄養士による食育指導を行っているが、今後全校に栄養士を設置していきたい。
- ・親と子の食育セミナー等で啓発活動を行っている。
- ・今後健康づくり課とも連携して食育を進めていきたい。
- ・市の方針として、地産地消を今後もすすめていきたいが、生産者との調整等課題を解消していく必要がある。

●委員の意見

- ・朝ごはんが特に大切だということをぜひ教育してほしい。
- ・事業に参加しない無関心な親を、行政がどう教育していくかが課題である。

③健康づくり活動のやりやすいまちづくりについて

●委員の意見

- ・サイクリングロードが指定され、様々なマップが発行されているが、実際には利用しにくい場所が多々ある。道路幅等の規格を統一する必要がある。
- ・サイクリングロードマップに名所史跡等載せるなど、各課が連携しあうことが必要である。

④伝統文化を継承するまちづくりについて

●文化課の説明

- ・太田市は文化財が多い地域であるが、観光とタイアップしながら保護につとめていきたい。
- ・国、県、市等の指定となっていない文化財等も、文化財課である程度把握しているが、地域でまとめていただけるとよい。
- ・核家族化等で継承しにくくなっているのも事実である。

●委員の意見

- ・国、県、市等の指定となっていないものの中にもすばらしい伝統文化があるためぜひ後世に残していきたい。

(3) 全体のまとめ

- ・福島会長が「行政へ依頼するだけではなく市民もやるべきことはやる必要がある」「これからも色々な局面で交流し、ご意見をいただければと思う」など、全体を総括した。

- ・小林企画政策課長が「市民と行政との協働と参画によってまちづくりをおこなっていききたい」など事務局として意見を述べた。